

提出いただいた意見とそれに対する市の考え方

No	意見の概要	件数	市の考え方
<b>(1) めざす人物像</b>			
1	<p>・豊田市はどのような大人に育ってほしいか市民にわかりやすい目標を掲げた上で計画を立ててほしい。</p>	1	<p>・どのような大人に育ってほしいかという「めざす人物像」は、今年で制定40周年となり、市民の「みちしるべ」として広く浸透している「豊田市民の誓い」を参酌して設定しています。</p> <p>・計画を周知・推進していく際には、イラストを用いた資料作りや補足説明などにより、市民のみなさんにより分かりやすくお伝えしていきたいと思えます。</p>
<b>(2) 重点施策</b>			
<b>重点事業 1 - 1 きめ細かな教育推進事業</b>			
2	<p>①少人数学級に取り組んでいると聞くと、先生にきめ細かい指導、コミュニケーションを求めるならば、もっと少人数学級にすべきだと思う。学校に先生（大人）が少ないと思う。</p> <p>・中学生も35人学級は良いと思う。35人以下でも補助教員が学級に入るといいと思う。</p> <p>②先生が忙しいとよく聞くと、少人数学級によって一人一人に目が届きやすくなり、先生の業務も減らすことができるのではないかと思う。</p> <p>③子どもに関わる大人が、子どもたちに合わせて柔軟に対応することや、少人数学級を進めることで、学校が大変な子だけに関わらず、そうでない子にとっても過ごしやすい場になっていくのではないかと思う。</p> <p>④少人数学級については、その効果が海外などで実証されているため、全学年で実現してほしい。さらに少人数学級も35人で満足することなく、20人程度にすべきだと考える。</p>	7	<p>(①～⑤まとめて)</p> <p>・近年、学校では、児童生徒一人ひとりに応じた個別対応が必要な機会が大変多くなっています。本市では、これまでの市独自の35人学級の実施に加えて、平成28年度からベテラン非常勤講師の配置を始めました。その効果として、学校からは、基礎基本の定着や専門的な指導ができるようになったとの報告を受けています。今後は、この取組の成果を分析して、人材確保および教員の資質向上の視点も含めて、よりきめ細かな教育を推進していきます。</p>

⑤財政的に厳しいのは承知だが、中核市の中で比較した場合、豊田市は財政規模の割に教員数が多くないので、あらゆる手を尽くして良い教職員を増やしていただき、子どもが「先生は忙しいから僕らが声をかけたら迷惑だ」などと思わないようにしてほしい。

⑥35人学級の教室は後ろまでいっぱい、  
「窮屈に感じる」とか「放課に後ろで遊べない」という声を何人かの子から聞いたが、実際に現場にいる先生や子ども、親の声をぜひ聞いてほしい。

・教室は、児童生徒が集中できる学習環境と安心・安全な生活環境の確保が必要です。今後も教員や児童生徒の声に耳を傾けながら、よりきめ細かな教育を推進していきます。

### 重点事業 1 - 2 いじめ・不登校対策事業

3 ①不登校対策については学校に來させようとするのではなく、家庭で学習する機会を与える方がよいと思う。スマホやパソコンから利用でき、月額千円程度で塾や予備校と同等の授業が受けられるサービスもある。嫌々学校に行っても学習意欲は上がらない。  
②不登校の子のために用意されているパルクとよたでは、色々な対応がされ、そこから学校に向かえるようになったり、勉強をする機会ができるようになったりした子もいるが、合う子と合わない子がいるようにも感じる。親が連れていこうと思っても、子どもが行きたがらず、試すこともできない場合もある。  
③不登校の子は、学校に行かないことに引け目を感じている。学校へ行かない選択をするまでにその子なりにかなり頑張っており、学校以外の場所で何かをやるとうとする力もなかなか湧いてこない。また、みんなが学校に行っているはずの平日

7 (①～③まとめて)  
・不登校の時期が、ストレスから回復するための休養時間であったり、自分を見つめ直す時間などの積極的な意味がある場合もあることから、学校関係者や家庭、関係機関が連携し、個々の児童生徒の課題や立場に寄り添ったきめ細かな支援を組織的・計画的に行うことが重要であると考えています。本市では、適応指導教室を活用した支援や、不登校専門員等が家庭や近くの交流館で学習をサポートする支援、スクールソーシャルワーカーや相談員による相談など、子どもや家庭に合った支援を行っています。

に学校ではない場所に行くことにも抵抗がある。学校に行くことを大変と感じる子たちが、自分に合った場所で過ごせ、学校に行かないことに引け目に感じない、そんな社会に向かっていったらと思う。

④「いじめアンケートが記名式のみで行われているので、本当のことは書けない。」という子どもたちの声をたくさん聞いたので、専門家の知恵を借りて、子どもが安心して記述できるような良いアンケートにしてほしい。

⑤市の取組としてパルクとよたやスクールソーシャルワーカーによる相談活動・学校支援等が挙げられているが、子どもの権利条約、子どもの権利条例、CAP など、人権教育を進める決意が教育行政計画に盛り込まれていると良いと感じる。教職員で子どもの権利条約、子ども条例、CAP を少しも学んでいない人があまりにも多すぎる。

⑥子ども同士のいじめだけでなく、教職員が子どもを反復継続的に抑圧、虐待してしまうケースについても目を光らせてほしい。その決意と方針を計画に何らかの形で盛り込んでほしい。教育委員会自体で人権についてしっかりと学んでほしい。

・本市では、平成28年度に、子どもがより安心して記述できるよう、アンケートへ記名の有無など実施方法や配慮事項を示した「学校生活アンケート」「いじめに関するアンケート」のモデルを作成しました。今後も、いじめの早期発見・早期対応のため、正確な状況把握に努めていきます。

(⑤、⑥まとめて)

・本市では、教員向けの現職研修訪問や、教員を含め保護者や市民向けに公開セミナーを行っています。その中に、子どもの権利条約やCAPについても学ぶ機会を設けています。

・本計画では、「学び続ける教員の育成推進事業」を重点事業に掲げ、教員の資質向上とともに、非違行為防止に関する取組を推進していきます。

また、本市は、平成19年に制定した子ども条例に基づいて「豊田市子ども総合計画」を策定し、子どもの権利保障や児童虐待防止対策の強化などに取り組んでいます。

#### 重点事業 1 - 4 外国人児童生徒教育事業

4 ・豊田市に外国人、帰国子女が多いならそれを活かした方向で市の特徴ある方針とし人材育成する。

1 ・本市では、外国人児童生徒に対し、初期日本語指導を行う「ことばの教室」の設置や、学校生活を支援する日本語指導員の配置等を行っています。帰国子女に対しては、海外での体験を共有し学校生活への適応等について情報交換する場を設けてい

		ます。外国にルーツをもつ子どもたちが母国との架け橋となり、国際的視野にたつて将来活躍できるよう、今後も学校生活や学習への支援を充実させていきます。
<b>重点事業 2 - 1 「主体的・対話的で深い学び」推進事業</b>		
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校でのきめ細かい学習支援で、比較的能力が高い児童生徒も満足できるような支援もしてほしい。</li> <li>・国際交流の加速、体験学習&amp;考える機会の増加。</li> <li>・大人が全て道やゴールを設定するのではなく、子どもが考えて行動できることを増やしていってもらえたらと思う。</li> </ul>	3 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画では、新学習指導要領に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めていきます。例えば、様々な場面で活用できる知識・技能を身に付けたり、自ら課題を見つけ、仲間と協働的に追究して解決策を考えたりする授業展開に取り組みます。また、地域学校共働本部の協力を得て、地区の特性を生かした体験学習等の機会も充実させていきます。</li> </ul>
<b>重点事業 2 - 3 学び続ける教員の育成推進事業</b>		
6	<p>①もっと学校の先生が子どもを理解することと、子どもの輪の中に入ってコミュニケーションをとって教育を進めることが必要。</p> <p>②先生の質の向上を目指してほしい。先生である前に人間として魅力のある人になってほしい。</p> <p>③CAP など、人権に関する研修を必修化してほしい。「子どもの権利」を学んでいない教職員が多すぎる実感がある。まずは教職員に『「子どもの権利」を理解して子どもや大人に説明できるか否か』アンケートをとっていただけたら、真実が見えると思う。</p>	10 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の多忙化による子どもと向き合う時間の確保が全国的にも問題になっています。本市では教員の多忙化を解消するための方策を実施し、子どもの思いや考えに寄り添いながら指導・支援できる時間の確保に努めます。また、教員に対して、子ども理解及びコミュニケーション力の向上を目指した研修を行っていきます。</li> </ul> <p>(②、③まとめて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の力量、言動は、児童生徒の人格形成に大きな影響を与えるものであるため、めざす教員像に、「あの先生に出会えてよかった!と言われる教員」を掲げ、豊田市教員人材育成プランに基づき、教員のキャリアに応じた研修を実施しています。具体的には、わかる授業づくり、居心地の良い学級づくり、行事の企画や運営などを学び、自らの専門性を磨き、家庭や地域から信頼される教員をめざしています。また、「子どもの人権」については、専門機関から講師を招き、研修を実施しています。今後とも、子どもたち一人ひとりを大切にできる教員の育成をめざし、研修を計画的に行っていきます。</li> </ul>

④教師の負担を減らし、より質の高い教育現場を作るためにも、教師のサポートをする人材・仕組みが必要では。

⑤教員の多忙化は子どもの不幸や教員の家庭の不幸に直結しているため、早急に解決しなければならない。教育は崇高だから身を犠牲にして当たり前だとか、一般社会の流れに逆らうかのような旧態然とした労務状況を改善するには、タイムカードを導入し実態を把握することが必須である。豊田市には、人が幸せになるために、安心して働ける企業がたくさん存在するはずで、それらの会社の労務管理は優れたものであるはずなので、ぜひ導入してほしい。

⑥全国的に教諭の不祥事が報道されているため、教諭のモラル向上に努めてほしい。

⑦教育者として不適格な者の積極的排除。

(④、⑤まとめて)

・本市では、教員の多忙化解消に向けて、多忙化解消プラン策定専門委員会を設置し、民間企業関係者や専門家の意見も参考にしながら、労務管理や業務の削減等について議論しており、平成30年3月末までに「多忙化解消プラン」として策定・公表を予定しています。

・教師の負担を軽減することは、きめ細かな教育の実現にもつながることだと考えています。本市は平成28年度からベテラン非常勤講師の配置を始めました。この成果として、教員一人ひとりの子どもに対応する時間が増えたことが報告されています。これからもベテラン非常勤講師の効果を分析し、教員の負担の軽減と質の高い教育の実現に向けて努力を続けていきます。

・教員による非違行為は、子ども・保護者・地域からの学校に対する信頼を失う重大な問題ととらえています。本市では、全教職員を対象とした非違行為防止に関する研修、非違行為防止の手引きの作成・全職員配布、及び市教委主催の全ての研修における非違行為防止に関わる内容の導入などの取組を展開し、非違行為の防止を図っています。その他、各校において、定期的に工夫を凝らした取組を展開しています。

・県費負担の教職員の任免については、愛知県教育委員会に権限があり、愛知県教育委員会は、「指導が不適切な教員」に対して指導改善研修を課し、意識の改善や力量の向上を図るようにしています。本市においても、本計画で「学び続ける教員の育成」推進事業を重点事業に掲げ、教員の資質向上とともに非違行為防止に関する取組を推進していきます。

<p>⑧子どもたちや保護者が担任や部活顧問以外の教師とも交流できると、密室環境での悪循環が軽減できると思う。</p>	<p>・新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」そして「チーム学校」という考え方がクローズアップされています。本市でもこのような考え方や方向性を大切に、小中学校ともに担任や部活動顧問だけが指導する体制に陥らず、教員同士の連携・協力、または保護者や地域との連携・共働を推進して、チームとして多くの教員・保護者・地域のみんなで子どもの成長に関わっていけるような体制づくりを推進します。</p>
--	---

**重点施策3 地域資源を生かした学習・活動機会の創出**

<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源の活用は大賛成。豊田市は環境的にはスポーツ、山野、各種人材にも恵まれており、これらを利用しない手はないと思う。将来を背負っていくであろう子どもたちの教育のためであれば、ボランティアで参加される方は多いと思う。</li> <li>・野外活動の場（六所山、元気村）を大いに広げてほしい。</li> </ul>	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点施策3に掲げるとおり、本市の多様な資源を生かして学習・活動機会を創出するとともに、地域を愛し、地域資源を受け継ぎ、活用していく人が育っていくという好循環が生まれる環境づくりをめざします。</li> <li>・また、地域全体で子どもたちの成長を支えていく取組（地域学校共働本部設置拡大事業、豊田市版コミュニティ・スクール推進事業など）により、地域ぐるみで教育を推進していきます。</li> </ul>
<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田市内には「豊田市環境学習施設エコット」や「豊田市自然観察の森」など、他市にはないすばらしい公共施設がある。小中学校の教育で、そういう施設をもっと積極的に活用していけば、豊田ならではの教育行政が実現できると思うので、環境政策課との連携を図り、しっかり予算を獲得しながら進めていくことが求められると思う。</li> </ul>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市は、各学校において、特色ある学校づくり推進事業や、理科・社会、総合的な学習の時間で、エコットや自然観察の森等の公共施設を活用した環境学習に積極的に取り組んでいます。また、地球温暖化や生物多様性などに関する学習については、環境政策課と連携を図りながら行っており、今後も継続していきます。</li> </ul>

**重点施策4 家庭・学校・地域の共働の推進**

<p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭・学校・地域をつなぐパイプ役になる人材確保がキーになると思う。</li> </ul>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では、現在、各小中学校に地域学校共働本部を設置し、家庭・学校・地域をつなぐパイプ役として、地域コーディネーターの配置をすすめています。今後、全ての小中学校で地域学校共働本部が設置され</li> </ul>
---	---

			るように働きかけていきます。
<b>重点事業 4-2 地域学校共働本部設置拡大事業</b>			
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方の参加はただ役員だからという理由で来られている方もおり、役員が変わると人も変わってしまう。継続して教育に関わってくれる方がいてくれるといいと思う。そのためには、ボランティアの募集など継続して多くの人に伝えてほしい。</li> <li>・子供の教育に対し、保護者や地域の人々も参加できれば良いと思うが、仕事等でなかなか参加できない家庭もあると思う。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では、平成29年9月末現在、市内45校に地域学校共働本部を設置し、73名の地域コーディネーターを配置しています。各本部において、教育協議会のメンバーや地域コーディネーターが中心となって、家庭や地域に向けてのボランティアの募集や活動の広報等を積極的に行っています。</li> <li>・ボランティアについては、土日どちらか半日の活動や1回のみ活動等も募集しており、仕事等でなかなか参加できない家庭に対しても、随時参加できるようにしています。</li> </ul>
<b>重点事業 4-3 家庭教育支援事業</b>			
11	<p>①もっと親子3世代のかかわりを進めることが必要。</p> <p>②子どもたちにスマホやゲームを規制するように促した方がいいと思う。専門家の話を保護者などに浸透させ、ゲームによる悪影響を理解し、子どもといるときは子どもとの時間を大切にしてほしい。</p> <p>③学童保育で習い事ができたり、学童以外で自由に参加出できる遊び場があると良いと思う。近所で子ども同士が遊べない環境（子どもの数が少ない等）もあると思うので。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成推進協議会では、「話して つなごう 家族のわ」をスローガンに、多世代との交流の啓発を行い、青少年の健全育成の推進を図るための取組を行っています。</li> <li>・スマホの利用方法について定めたチラシ「豊田のルール4か条」を作成し、市内の全小・中学校に配布・啓発しています。</li> <li>・今後も、PTAや地域の青少年健全育成団体が主催するスマホ利用に関する講演会の開催等により、保護者にも理解を深められる活動を推進します。</li> <li>・放課後児童クラブ以外にも、自治区や地域学校共働本部で自由に参加できる「地域子どもの居場所づくり事業」を展開しています。</li> </ul>
<b>(3) 基本施策</b>			
<b>基本施策 1 学び・育ち</b>			
12	①人口などの数字ばかりに気をとられず、各個人の自由や、人間としての能力(視力、聴力など)を義務教	9	・予測困難な社会を生き抜くためには、他者と協働し、「学んだことをどう使うか」という力が重要になってきます。そうした

育の中で奪わないようにしてほしい。もし、黒板がスクリーンになってしまったとしても、子どもたちから鉛筆と紙を奪わないでほしい。

②某自治体では、部活動に定休日を設定する動きもある。子どもが、中学時代、父親よりも早く、まだ暗い中を朝練のために登校する姿は、変だと思っていた。もっと、自由になる時間が大人も子どもも必要な時代になっているのではないか。

③公立校でも中高一貫教育校を創設し、受験の弊害を減らす。

④学校の環境整備が、地区によって行き届いていないことがあり、月一回地域の人々に協力をお願いしたらどうか。いい環境がいい人を育てると思う。

⑤同じことをやっても、あまり苦も無くできる子とかなり大変な子が

力を育てるための学習ツールとして、従来の鉛筆や紙に加えて、ICT機器がとても有効です。授業の場面に適した学習ツールを選択・活用し、より主体的・協働的な授業を行っていきます。

・本市は、平成29年4月より「豊田市中学校部活動休養日等についてのガイドライン」を示し、各校において適切に休養日が設定されるよう努めています。子どもたちにとって充実した部活動にするためには、適切な休養日が必要であり、スポーツ障がいの予防やバランスのとれた生活の確保、健康障がいの防止などの視点も踏まえて取組の効果を点検しながら、今後も改善を図っていきます。

・本市では中高一貫校の新設予定はありませんが、中高連携の取組を行っています。中学校と高等学校の教員が互いの授業を勉強し合う機会を作ったり、中学生や保護者に、高校・特別支援学校の特色ある取組や魅力をPRする「高等学校魅力発見フェスタ」を開催したりしています。

・現在、各中学校区で地域教育懇談会を開催し、学校と保護者・地域の方々と、地域が抱える教育課題への対応策を協議しています。また、豊田市版コミュニティ・スクールに指定された中学校区では、コミュニティ・スクール連絡会議の中で、学校と地域の共働による取組について協議しています。それらの中で、学校の環境整備等についても話題にし、できることを学校と保護者・地域の方々が共働で取り組めることから実施していきたいと考えています。

(⑤、⑥まとめて)

・学校では、子ども一人ひとりが、学級の

いる。色んな子がいる、それでいい。まずは周りの大人が「互いの個性や立場の違いを認め合い、それぞれでできることを出し合って補い合っていけたらと思う。

⑥知・徳・体をバランス良く育てる、という方針について、たとえアンバランスであっても、周りの子どもや大人との関係性で安心して子どもが生きていけるようなサポートを市民とともに行政がしていく旨を計画書で宣言してほしい。

⑦安心して楽しく学ぶために、中学校のあそこまで細かいルールは必要なのか。子どもたちが出来ない事を指摘し合うのではなく、いいところに目を向けられる。そんな気持ちの余裕ができるといいと思う。

⑧「学校が楽しいか、などという設問が書かれたアンケートを学力テストのときに配布されても、内申に影響するような気がして本当のことが書けない。」という子どもたちの声をたくさん聞いた。子どもが安心してアンケートに書けるよう、もう少し細やかな配慮が必要だと感じる。

中で自分が認められていると実感できるよう、一人ひとりの個性を尊重しながら、互いに支え合い、高め合える共感的な人間関係を育てていきます。また、学校・家庭・地域がこれまで以上に連携を図り、地域学校共働本部の活動や豊田市版コミュニティ・スクールの取組などを通して、子どもの学び・成長を地域ぐるみで支えていく（見守っていく）基盤づくりを計画的に進めていきます。

・ルールは児童生徒一人ひとりがより良い学校生活を送るために、ある程度は必要だと考えます。大切なのは、問題意識をもって現状に合わせてルールを見直したり必要性を再確認したりするといった自主的・自発的な児童生徒会活動を行うことであり、そういった活動を通して、自立と共生の基礎的な素養が育っていくと考えます。また、学校での集団生活を通して、お互いの個性を認め合い、持ち味を生かしながら学び合い育ち合うことは特に大切です。こういった居心地のよい集団の中で、自己肯定感が育つと考えています。

・全国学力・学習状況調査では、継続的に傾向を分析したり、指導の改善や充実に役立てたりするために、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査を行っています。アンケートの回答によって子どもが不利益になることはあってはならず、子どもが安心して回答できるよう配慮し、適切に実施していきたいと考えています。

13 ・ 貧困の家庭への援助により、教育に関わる経済的格差を無くす。  
・ 無料塾、無料習い事の実施。

3 ・ 子どもの貧困対策については、低所得世帯への就学援助や給食費無償化等、教育費負担軽減の支援を実施しています。これらの事業については、第4章の基本施策の主な事業の中に「貧困状態にある子どもへの

		<p>支援事業」として掲載しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、支援を要する家庭や子どもを学校から福祉関係機関に確実につなげるなど、福祉部署や地域との連携を強化し、総合的な支援を図っていきます。</li> </ul>	
<b>基本施策2 スポーツ</b>			
14	<p>①スポーツボランティアの育成や活用。</p> <p>②スポーツ選手に対する補助の強化があると、もっと豊田市から世界で活躍できる選手が輩出されると思う。もしくはそういう制度があるのであれば、もっと周知したほうが良いと思う。</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田マラソン大会では、毎年ボランティアを募集し、市民の協力を得て大会を開催しています。また、ラグビーワールドカップ2019™に向けて、ボランティアの募集、育成を行っており、大会終了後もレガシーとしてボランティアが引き続き活躍できる場を増やしていきます。</li> <li>・アスリート等が国際大会や全国大会に出場する際には、豊田市民活動奨励報奨金を交付しており、この制度の周知を進めています。また、市内のスポーツチームや本市ゆかりのトップアスリートを応援したり、身近に触れ合う機会を充実させる取組を重点的に進めています。</li> </ul>
<b>基本施策3 歴史・文化</b>			
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生手帳を見せれば無料で芸術に触れる機会を与えてほしい。</li> <li>・劇や絵画、芸術にふれてほしい。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館では、企画展覧会の観覧料を中学生以下は無料、市内在住又は市内の高校に通う高校生も、学生証の提示で全額免除（無料）としています。</li> <li>・企画展覧会ごとに、子ども向けの案内チラシを作成し、市内の全小・中学校に配布しています。これは、子どもの鑑賞機会の充実を目的としたものですが、子どもと一緒にこのチラシを持参した大人については、割引料金で観覧できます。</li> <li>・また、本市では、様々な文化芸術に触れる機会を提供していますが、特に子どもを対象としては、小学生には劇団四季による「こころの劇場」、中学生にはコンサートホールでの「心に残る記念事業」など、無料で文化芸術を鑑賞できる事業に取り組んでおり、今後も子ども向けの多彩な文化事業を充実させていきたいと考えていま</li> </ul>

			す。
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多種多様な文化とのふれ合いが必要。</li> <li>・他文化の享受。他県出身だと馴染めない文化がある。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術の振興を図るためには、多様な文化芸術活動を尊重し、包括的に施策を推進することが重要であると考えています。今後も美術館、コンサートホール・能楽堂、市民文化会館などの文化施設を始め、様々な場において、多彩な文化芸術に触れる機会を創出していききたいと考えています。</li> </ul>

#### (4) 計画の推進、計画全般

##### 計画の推進

17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良い計画だと思う。絵にかいた餅にならないように具体的展開が課題。現状との乖離を解析し問題解決、推進していく具体的展開を期待する。</li> <li>・イベントの開催。</li> <li>・途中経過の進捗チェックも知りたい。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の推進については、第5章の計画の推進に掲載してあるとおり、毎年、進捗状況を把握しながら、Plan（計画）-Do（実施）-Check（評価）-Action（見直し）のサイクルを繰り返し、継続的な改善を行うことにより、計画推進のさらなる充実に取り組みます。</li> <li>・計画の進捗状況については、毎年、ホームページ等で公表していきます。</li> </ul>
----	--	---	---

##### 計画全般

18	<p>①お互いがお互いのしていることを認め合うというのは、大切だがとても難しいことだと思う。生涯学び続ける、というのは重い。個を高めることが大切だと思う。</p> <p>②挨拶や声かけはもちろん、世代の理解（子どもはにぎやかなものであるなど）は教育の基礎であると思う。</p> <p>③今いる子どもたちの10年後、20年後の社会を見据えた計画が必要。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めざす人物像の一つに「生涯にわたって、自ら楽しく学び・育ち続ける人」とあるように、市民が学習活動やスポーツ、文化活動に「楽しく」取り組むことが重要であると考えており、市民が自ら楽しく学び、多様な活動が行われるように、支援していきます。</li> <li>・また、「世代の理解」については、「互いに認め合い、助け合いながら、共働によるまちづくりに取り組む人」をめざす人物像に掲げており、こうした人物像の実現をめざして各事業を展開していきたいと考えています。</li> <li>・本計画の期間は4年間ですが、計画の基本理念・めざす人物像については、10年程度の長期的な方針として定める次期豊田市教育大綱と整合を図り、設定しています。</li> </ul>
----	---	---	---

	<p>④我が国は教育にお金を使っていない様に思える。国がだめなら豊田市で頑張るしかない。</p>		<p>・本市の歳出全体に対する教育費は、13%、239.7億円(平成28年度決算)で、中核市の中では最も充実していると言えます。</p>
19	<p>・教育に多岐に渡る切り口で取り組むのもいいことだが項目の絞り込みも必要。PTAや、子ども会も、今、見直す時期では。</p> <p>・要点や重要な優先課題を簡潔に示してほしい。これまでの行政の問題点や反省点が知りたい。</p> <p>・資料作りの為の資料の感が否めない。市民目線での重点が分かりやすい資料になっていない。現状での課題が不明(あえて触れていないのではと感じる)。問題が皆無なら、今後の発展や向上は市民から意見聴取して進めるべきだが、市民意見の情報が見当たらない。</p>	4	<p>・計画の策定にあたり、「豊田市の教育に関するアンケート調査」や関係団体ヒアリング等を実施し、本市の教育課題を把握した上で、4つの重点施策を設定しました。</p> <p>・各重点施策立案に至った現状と課題については、計画案のp19から記載してありますのでご覧ください。「豊田市の教育に関するアンケート調査」結果の詳細は、ホームページでご覧いただけます。</p>
20	<p>①携帯端末が普及しすぎて、個人主義が悪化し、弊害が起きている。今こそ対面交流や世代間交流を広く行って、地域を継承、発展させることが必要。</p> <p>②今後、団塊世代に育てられた人、ゆとり世代で育った人たちのモラルのギャップ、ゼネレーションギャップの問題も出てくると思うが、それを色々な意味合いで埋めることが大切。</p> <p>③豊田市は新しく入ってくる若者・家族が多い。知り合いがいない為、地域のつながりがいまいち。年齢層関係なく地域の人達と関わる事があるとよい。</p>	3	<p>①市民が夢や希望を持ち、豊かな人生を送るためには、家庭・学校・地域等において、生涯を通じて自ら学び、共働によるまちづくりを進め、地域と共に育ち合うことが肝要であると考えています。</p> <p>(②、③まとめて)</p> <p>・本計画では、「地域ぐるみで学び合い」をキーワードに掲げ、市民一人ひとりが人や地域とのつながりの中で学び合い、育ち合う教育の実現のため、世代間や地域間等の様々な交流の機会を充実させていきます。</p>
21	<p>・豊田市というカテゴリーが強調されている感あり。枠を超えたグローバルな視点からの教育が大切。</p>	2	<p>・本市では平成29年度に「WE LOVE とよた」条例が制定され、その取組を全市的に推進していることから、本計画において</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭い豊田市だけの活動を考えるのではなく広い視野を持つ機会があるといい。例えば豊田市の子供たちが全日本や世界の大会に参加できる機会を与えることもできるといい。</li> </ul>		<p>も、地域への愛着や誇りを育む教育施策が多く設定されています。グローバルな人材育成についても、国際理解教育や新学習指導要領実施に伴う英語教育等の事業を推進していきます。</p>
<b>(5) その他</b>			
22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育行政の独立性を担保するために、豊田市としてどのようなセーフティーネットを用意して実行に移されているかを、計画の中で記載してほしい。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の教育委員会制度は、教育に関する大綱を市長が策定したり、市長と教育委員会が協議・調整を行う総合教育会議を設置するなど、市長と教育委員会が教育政策の方向性を共有し、一致して執行に当たりますが、教育委員会は、市長から独立した行政委員会の一つとして位置付けられており、教育委員による合議により中立的な意思決定を行っています。</li> <li>・教育委員会制度の理解促進については、ホームページ等により、周知を図っていきます。</li> </ul>
<b>(6) 感想等</b>			
23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々と考えられていて良いと思う。</li> <li>・地域の活性化にいい。</li> <li>・まずは目の前の事を解決していただければ充分。</li> <li>・よく考え尽くされている。ただ豊田市の子ども人口が、今現在でも減少の兆しが出てきているのが残念。</li> <li>・子供の遊び場を増やす。</li> <li>・新築しやすい環境を整えてほしい。移住したくなり、生活しやすい環境を地域ぐるみで推進すべき。</li> <li>・共働き世帯にも優しい環境を希望する。</li> </ul>	11	—